

二〇二二(令和四)年度 沖縄国際大学 一般選抜試験問題

【国語② 漢文】

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
- 二、この問題は、2ページある。解答用紙は、マーク用が一枚ある。
- 三、マーク用の解答用紙は【1】～【4】まで使用する。
- 三、試験中に問題の印刷不鮮明、ページの落丁、乱丁及び解答用紙の汚れ等に気がついた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 四、解答用紙は直接機械処理をするので、折り曲げたり、汚してはいけない。
- 五、マーク用解答用紙には、受験番号、氏名、科目、受験地が印字されているので、間違いがないか確認すること。
- 六、筆記用具は、必ず鉛筆（HB）または○・五ミリのHBシャープペンシルを使用し、丁寧に記入すること。

- また、訂正する場合は、プラスチック製消しゴムで完全に消してから改めて記入すること。
- 七、解答は、設問ごとに指示してある番号の解答欄にマークすること。例えば解答番号【20】という問いに対して③と解答する場合は、よい記入例のようにNo.【20】の解答欄の③にマークすること。

○よい記入例

No.	解 答 欄									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
【20】	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

○悪い記入例（得点にならない）

【21】 2ヶ所にマークした

【22】 はみだしてマークした

【23】 ぬりつぶした

No.	解 答 欄									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
【21】	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
【22】	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
【23】	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

八、試験終了後、問題用紙は持ち帰ること。

二〇二二（令和四）年度 沖縄国際大学一般選抜試験問題

【国語② 漢文】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

孫堅之子策^ト与^ニ弟^一權^一留^{マル}富春^ニ。遷^ル于^ニ舒^ニ。堅死^ス。策年十七[、]往[、]見[、]袁術[。]得^{タリ}其[、]父[、]余兵^一。策十余歳[、]已^ニ交結^{シテ}知^{ラル}名[。]舒人周瑜[、]与^レ策同年[。]亦英達夙成[。]至^{リテ}是^ニ從^{ヒテ}策起^{コル}策東^{ノカタ}渡^{リテ}江^ヲ。轉^ス鬪[。]所向^ニ無敢[。]当^ル其鋒者[。]百姓聞^{キテ}孫郎至^{ルト}皆失^フ魂魄[。]所^ニ至[。]一無所犯[。]民皆大悦[。]孫策既定^メ江東^ヲ欲^ス襲^{ハント}許^ヲ。未^ダ發^セ故所^レ殺^ス吳郡守許貢之奴[、]因^{リテ}其出^{デテ}獵^{スル}伏^{シテ}而射^ル之[。]創^{ダシ}甚[。]呼^{ビテ}弟[、]權^ヲ代^{ハリテ}領^{センテ}其衆[。]曰^{ハク}「拳^{ゲテ}江東之衆^ヲ決^シ機^ヲ於^ニ兩陣之間^ニ与^ニ天下^一爭^{フハ}衡^ヲ卿不如我[。]任^ジ賢使^レ能^ヲ各[、]尽^{クサシメテ}其心^ヲ以^テ保^{ツハ}江東[。]我不如卿^{」。}卒^ス。年二十六。

（『十八史略』角川書店。ただし、設問の都合で訓読や返り点を省いたところがある）

（注） 權——孫權のこと。

舒——桐城県の東。

周瑜——孫權を助けた。

許——曹操の拠点。

衡を争う——勝負を争うこと。

富春——富陽県近辺。

袁術——後に曹操に敗れる。

夙成——晩成の反対、早熟のこと。

創——傷のこと。

卒——亡くなること。

問一

傍線 a 「往見袁術」、d 「卿不如我」の訓読としてふさわしいものはどれか。次の①～⑤の中から一つずつ選び番号で答えなさい。解答番号はマーク用解答用紙 a【1】b【2】(3点×2)

a 「往見袁術」

- ① 袁術を往かせしむ
- ② 袁術に往かせらる
- ③ 往きて袁術に見ゆまみ
- ④ 往きて袁術を見すあらは
- ⑤ 往きて袁術として見るあらは

d 「卿不如我」

- ① 卿不は我のごとし
- ② 卿不は我にいかん
- ③ 卿、我にしかず
- ④ 卿、我ににず
- ⑤ 卿、我にいかん

問二

傍線 b 「所向無敢当其鋒者」の返り点としてふさわしいものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号はマーク用解答用紙【3】(2点)

向かふ所敢えて其の鋒に当たたる者無し

- ① 所^レ向無^レ敢当^レ其鋒者
- ② 所^レ向無^レ敢当^ニ其鋒者^一
- ③ 所^レ向無^レ敢当^ニ其鋒^一者
- ④ 所^レ向無^下敢当^ニ其鋒^一者^上
- ⑤ 所^レ向無^ニ敢当^ニ其鋒者^一

問三

傍線 c 「所至一無所犯。民皆大悦」の意味としてふさわしいものはどれか。次の①～⑤の中から一つ選び番号で答えなさい。解答番号はマーク用解答用紙【4】(2点)

- ① 迎えるとき何ひとつ失敗することはなかった。民衆は皆大いに喜んだ。
- ② 迎えるときひどく丁寧に迎え取った。民衆は皆大いに喜んだ。
- ③ やって来るとき誰もついて来なかった。民衆は皆大いに喜んだ。
- ④ やって来るとき何ひとつ持っていなかった。民衆は皆大いに喜んだ。
- ⑤ やって来ても何ひとつ乱暴することはなかった。民衆は皆大いに喜んだ。